



2022年7月20日

各位

会社名 株式会社日本エム・ディ・エム
代表者名 代表取締役社長 大川 正男
(コード番号 7600 東証プライム)
問合せ先 IR室 棟近 信司
(03-3341-6705)

サステナビリティ経営の推進「国連グローバル・コンパクト (UNGC)」 署名に関するお知らせ

当社は、国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト(以下「UNGC」)」に署名し、2022年6月23日付で参加企業として登録されました。併せて、UNGCに署名している日本企業などで構成される「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」に加入しました。



UNGCは、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みです。2000年7月26日にニューヨークの国連本部で正式に発足し、世界約160ヶ国で1万7,500社を超える企業・団体が署名し、活動を展開しています。UNGCに署名する企業・団体は、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、腐敗の防止に関わる10の原則に賛同する企業トップ自らのコミットメントのもと、その実現に向けて努力を継続することが求められます。

当社は、UNGCに署名することで、企業姿勢を明確に表明するとともに、「最先端の優れた医療機器の開発と販売を通じて、医療に貢献する」という経営理念のもと、グローバルな視点からサステナビリティ推進活動に積極的に取り組むことで、さまざまなステークホルダーからの要請に応えるとともに、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

[国連グローバル・コンパクト10原則]

人権	原則1：企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである 原則2：企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである
労働	原則3：企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持すべきである 原則4：企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである 原則5：企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである 原則6：企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである
環境	原則7：企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである 原則8：企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである 原則9：企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである
腐敗防止	原則10：企業は、強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである

国連グローバル・コンパクトについての詳細はこちらをご参照ください。

グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン <https://www.ungejn.org/>

国連グローバル・コンパクト本部 WEB サイト（英語） <https://www.unglobalcompact.org/>

以上